



運動エネルギーを電力に変える潮力発電装置の製作に取り組み、2種類の潮力発電装置を製作した。

これらの学習は、授業で学んだ知識を調査や研究、製作によって深め、省エネルギー・省資源に取り組む姿勢を育むことができた。また、科学に対する興味、探究心や課題に対するアプローチの仕方、調査に取り組む実践力や共同研究の手法などを体験によって育むことができた。

② 地域とのつながりに係わる活動

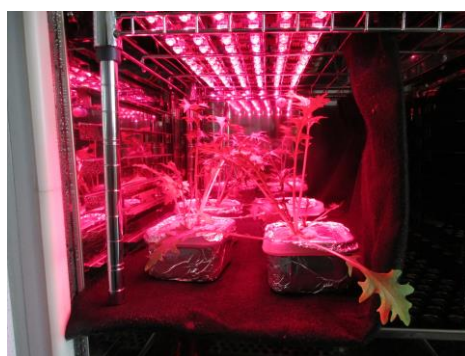
- ・ 徳島ユネスコ協会が主催する「東日本大震災後被災地を支援するチャリティーバザー」や「わたしたちの町たからもの絵画展のためのボランティア」「遍路お接待活動」などのボランティア活動に生徒はスタッフと協力し積極的に活動した。
- ・ 地域住民と連携しながらの月1回の清掃活動や、避難所となる学校を意識しての専門高校ならではの、ものづくりの技術力や、無線通信の知識・技術・行動力を生かした防災活動を展開した。

③ 国際交流に係わる教育

- ・ ドイツニーダーザクセン州ブリンクシュトラーク職業学校生との技術交流や意見交換を行うことによってグローバル社会で活躍できる広い視野を身につけることができた。



① フィールドワークによる生物調査



① LED 植物栽培



② わたしたちの町たからもの絵画展



② 遍路お接待活動



③ ブリンクシュトラーク職業学校生との技術交流

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他 ( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他 (自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他 (自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

「スターリングエンジンの研究」 (1) 「スターリングエンジンの理論と設計」 山下巖, 濱口和洋, 香川澄ほか (2) 「スターリングエンジンって何?」 小林義行ほか (3) 「摩擦の研究」 栃木県立宇都宮清陵高等学校科学倶楽部 「志和岐港内ほかフィールドワーク」 (1) 「暖流域における人工礁の藻場消去とムラサキウニの動態からの密度管理の指標の検討」 (独) 水産総合研究センター西海区水産研究所 (2) 「藻場を見守り育てる知恵と技術」 藤田大介, 村瀬昇, 桑原久実編著
--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

専門高校の多様なカリキュラムや、恵まれた施設・設備を活用して、「未来の技術者としての先端技術について研究し、将来、工業、水産・海洋関係の技術者や科学者として活躍する人材の育成」を目指した。また水産科においては、英語と専門科目を融合させた学校設定科目「MSE (Marine Science English)」も開設し、英語科・水産科教員、ALT が連携して授業を計画し、実習教材を作成し、水産科の実験・実習を英語で行った。また、国際的視野を持った人材育成にも取り組み、ドイツのニーダーザクセン州ブリンクシュトラーク職業学校と姉妹校協定を結び、交互に訪問し、生徒同士で共通課題に取り組む等、技術交流を中心とした研修を実施した。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

工業科・水産科独特の縦のつながり、各学年の横のつながりを最大限に活用し、全校体制を基本としてカリキュラムや学校行事、進路指導が成されている。一例として第3学年で取り組まれている「課題研究」は各コース内で発表し概要集を作成するとともに、各コースの代表が学校全体での発表や報告書もまとめている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

内部評価として、生徒、保護者、教員を対象としたアンケートを実施。外部評価として、学校評議員による評価を実施している（年2回）。アンケートによる評価では、ほとんどの項目で、生徒・保護者の満足度は高く、教員はいずれの項目でも厳しく評価している。学校評議員の意見としては、地域との防災訓練の実施など、高い評価を得られているが、今後の課題として、何事においても、生徒が主体的な活動となるように移行していくことが望ましいとの指摘があった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

新聞、テレビ等の取材及び本校ホームページにより発信した。このことにより、中学生の本校に対する興味・関心が沸き、本校を希望する中学生の参考となった。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）  
（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

徳島ユネスコ協会と連携し、「東日本大震災後被災地を支援するチャリティーバザー」や「わたしたちの町たからもの絵画展のためのボランティア」「遍路お接待活動」「世界に伝えたい「阿波人形浄瑠璃」と次世代につなごう「千年サンゴ」発表会」などのボランティア活動に参加した。地域の人々や、異年齢集団との関わりが生徒たちにとって貴重な経験となった。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

今年度は、他のユネスコスクールとの交流を行うことができなかったが、今後の課題として取り組んでいきたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

ESD パスポートを意識して、ボランティア活動に取り組み出した生徒が、ボランティアの本来の喜びを知り、積極的にボランティア活動に参加するようになった。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

工業・水産という専門高校の特色を生かしながら、ボランティア活動、地域との環境保護活動、防災活動等に取り組んでいきたい。具体的には、教科「課題研究」における関連項目についての科学的研究、学校周辺の一斉ボランティア清掃、徳島ユネスコ協会や地域住民と連携してのボランティア活動、防災活動等を予定している。